

じこひようか
自己評価チェックリスト

| | |
|-----|----|
| No. | 名前 |
|-----|----|

インタビュー

A2

B1

B2

| | | | | |
|--------------------------------|----|---|--|---|
| インタビュー じゅんび 準備 | 1 | インタビューに必要な簡単な質問文が作れる。 | インタビューの流れに沿った適切な質問文が作れる。 | インタビューで必要な情報を収集するための論理的な展開の質問文が作れる。 |
| インタビュー する | 2 | インタビューで準備した質問をし、相手の話したことを確認できる。 | 準備してインタビューを行い、答えに合わせて次の質問ができる。 | インタビューをなめらかにおこなえる。面白い答えを取り上げて、用意した質問を急速に変えるなどしてさらに興味深い答えを引き出せる。 |
| | 3 | あいづちを打ち、聞いていることを相手に示すことができる。 | 自然に適切なあいづちを打って、会話をスムーズに運ぶことができる。 | バリエーションのあるあいづちを適切に打ち、相手の話を引き出すことができる。 |
| | 4 | インタビューをしながら、キーワードが少しメモできる。 | インタビューをしながら、キーポイントがメモできる。後で自分で見てわかるメモが取れる。 | インタビューの重要な点をノートに取ることができる。 |
| | 5 | インタビューのテープを聞いて、キーワード、表現、短い文を抜き出して書ける。 | インタビューのテープを聞いて、キーポイントを理解し、短い断片的な情報を要約することができる。 | インタビューのテープを聞いて、必要な情報を抜粋し、要約することができる。 |
| はっぴようげんに 発表原稿 さくせい 作成 | 6 | インタビュー結果についての簡単な発表原稿を書くことができる。 | インタビュー結果を集めてまとめた発表原稿を書くことができる。 | 様々なところから集めた情報や議論をまとめて、重要な点を強調したり、関連する詳細な補足を加えたりした発表原稿を書くことができる。 |
| | 7 | 発表のための基本的な視覚資料(PPTなど)が作れる。 | 発表のためのわかりやすい要点をまとめた視覚資料(PPTなど)が作れる。 | 発表の展開に沿って重要な点や補足情報を示す効果的な視覚資料(PPTなど)が作れる。 |
| | 8 | クラスメートから簡単な情報を聞いたり、次にすることを話し合ったりできる。 | クラスメートの意見にコメントができる。 | クラスメートに意見を述べるように促して、作業を先に進めることに貢献できる。 |
| はっぴよう 発表 | 9 | 練習すればインタビューの結果について短い発表ができる。 | 準備すればインタビュー結果について発表ができる。わかりやすい程度正確に要点が述べられる。 | インタビュー結果について、論理的に展開した発表ができる。重要な点や詳細に焦点が当てられる。 |
| | 10 | 発表の後、時々質問を繰り返してもらったり、助けてもらわなければならないが、簡単な質問に答えられる。 | 発表の後、質問に答えられるが、スピードが遅いときは繰り返してもらわなければならない。 | 発表の後の質問に対して、準備していなくても、流暢に自然に対応ができる。 |
| | 11 | ほかのグループの発表の話題が何かわかる。 | ほかのグループの発表の要点が理解できる。 | ほかのグループの発表がほぼ全て理解できる。 |
| | 12 | 練習すれば、準備したとおりに司会ができる。 | 練習すれば、だいたい問題なく司会ができる。その場に応じて対処できる。 | 発表について適宜コメントを加えながら、明快に流暢に司会ができる。 |

スピーチ

| | | | | |
|----------------|----|--|---|---|
| スピーチを 書く | 13 | 身近な話題について、簡単な短いスピーチを書くことができる。 | 興味のある話題について、まとまったスピーチが書ける。 | 興味のある分野の様々な話題について、明確に詳しく、さまざまな情報や議論に基づいて、自分の意見を述べるスピーチが書ける。 |
| | 14 | スピーチを始めた後、終えたりする表現や、「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞を使って、まとまったスピーチを構成できる。 | 適切な接続詞や展開表現を使い、具体例を交えたわかりやすく、まとまったスピーチを構成できる。 | 話題を展開したり、意見を述べたりするために、適切な展開表現を使って、説得力のあるスピーチを構成できる。 |
| はっぴよう 発表する | 15 | 簡単な話題について、練習すれば、短いスピーチができる。 | 自分がよく知っている話題について、準備すればスピーチができる。わかりやすい程度正確に要点が述べられる。 | 論理的に展開したプレゼンテーションができる。重要な点や詳細に焦点が当てられる。 |
| | 16 | 日本人が聞いてわかる発音やポーズでスピーチができる。 | 日本人がよく理解できるくらいはっきりとした発音と自然なスピードでスピーチができる。 | 自然な発音やイントネーションで、重要な点のある程度強調しながら、スピーチができる。 |
| | 17 | 発表の後、時々質問を繰り返してもらったり、助けてもらわなければならないが、簡単な質問に答えられる。 | 発表の後の質問に答えられるが、スピードが遅いときは繰り返してもらわなければならない。 | 発表の後の質問に対して、準備していなくても、流暢に自然に対応ができる。 |
| | 18 | 友達とのスピーチ発表の話題が何かわかる。 | 友達とのスピーチ発表の要点が理解できる。 | 友達とのスピーチ発表がほぼ全て理解できる。 |
| | 19 | 練習すれば、準備したとおりにスピーチ発表会の司会ができる。 | 練習すれば、だいたい問題なくスピーチ発表会の司会ができる。その場に応じて対処できる。 | スピーチ発表について適宜コメントを加えながら、明快に流暢に司会ができる。 |
| くにしようかい 国紹介 | 20 | 国紹介シートを示しながら、簡単に説明ができる。 | 国紹介シートを示しながら、ある程度詳しい説明ができる。 | 国紹介シートを示しながら、その資料に関連する社会的な事象まで詳細な説明ができる。 |

にほん
日本語理解

| | | | | |
|-------------------|----|-----------------------------------|--|---|
| じこく 自国について説明する | 21 | 自分の国の状況についての質問に対して、1文か2文程度で説明できる。 | 自分の国の状況について、簡単に説明できる。 | 自国の状況について、原因や背景を示しながら、多角的に説明できる。 |
| しりょう 資料を読む | 22 | 表やグラフが何についてのものかわかる。 | 表やグラフから要点を読み取ることができる。また、簡単に説明ができる。 | 表やグラフを問題なく理解し、適切な表現で説明したり、背景を推測して意見をのべたりすることができる。 |
| | 23 | 漢字にルビのついた資料を読んで、キーワードがわかる。 | 漢字にルビがついた資料を読んで、だいたい理解できる。 | さまざまな資料を読み、だいたい理解できる。 |
| いけん 意見を言う | 24 | 短い理由を述べたりして、簡単な意見が言える。 | 理由を述べたり、説明したりして、はっきりと意見が言える。 | 利点、不利点をあげて問題の視点を説明したり、適切に論点を強調し、重要な関連事項を詳しく取り上げ、明確に議論を展開しながら意見が述べられる。 |
| | 25 | ほかの人の意見に賛成や反対ができる。 | ほかの人の意見に対して、理由などを挙げながら自分の意見を述べ、コメントを加えられる。 | 積極的に議論に参加し、他の人の意見に論拠や関連する事項を説明し、意見や視点を示すことができる。 |

じりつ がくしゅう かつどう ききろく しゅう
自律学習（活動記録と週FB）

| | | | | |
|--------------------------|----|--|---|---|
| かつどう ききろく 活動記録を 書く | 26 | にちじょうせいかつ 日常生活での出来事や、個人的な経験を、短い文を 重ねて書ける。 | にちじょうでき 日常なことについて、気持ちを表したり、理由を説明 したりして、詳しく経験が書ける。 | じぶん かんしん 自分が関心のあるさまざまな話題を展開して、明瞭、 詳しく書くことができる。 |
| しゅう 週フィード バック | 27 | したことを順番にあげて、自分の経験について簡単に 話すことができる。出来事や、活動のポイントを短く話 せる。 | けいけん じぶん きもち 経験を、自分の気持ちを詳しく説明しながら、順序に 沿って詳しく話すことができる。 | じぶん かんしん ひろ はんい わだい 自分の関心のある広い範囲の話題について、明確に 詳しく述べるができる。 |
| | 28 | ほかの人の意見に賛成や反対ができる。 | ほかの人の意見に対して、コメントを加えたり、賛成、 反対の理由とともに意見が述べられる。 | きつよくでき ぎろん さんか ほか ひと いけん るんぎょ かんれん 積極的に議論に参加し、他の人の意見に論拠や関連 する事項を説明し、意見や視点を示すことができる。 |

こうりゅう
交流（ホームビジット、交流会、会話パートナー）

| | | | | |
|------------------|----|---|--|--|
| かいわ 会話 | 29 | かぞく す 家族、住んでいるところ、今までの勉強、好きなことや 嫌いなことなどについて話すことができる。 | じぶん きょうみ わだい 自分が興味のあるいろいろな話題や、やや抽象的な 文化的話題について簡単に話すことができる。 | ちゅうりょうでき ふくごつ わだい ふく 抽象的で複雑な話題を含むほとんどの話題について まとまった長さで話すことができる。 |
| | 30 | 「うれしい」「びっくりした」など、簡単な言葉で自分の気 持ちを表現できる。 | おどろ しあわ かな きょうみ 驚き、幸せ、悲しみ、興味などの感情を表現し、また、 相手の感情に反応することができる。 | きもち かんた つた じぶん 気持ちのあり方を伝え、自分にとってのその出来事や 経験の重要性を十分に伝えることができる。 |
| | 31 | 何をしたいか話して、人と会う約束をしたり、予定につ いて話し合ったりすることができる。 | どこに行くか、何をしたいかなどを、条件や相手の提 案と比べながら話し合える。 | みじか じょうきょう かな 身近な状況で話合っていることに対して、視点を はっきり示し、さまざまな状況を想定して、提案したり、 意見を述べたりすることができる。 |
| | 32 | 興味のある話題の日常的なことなら短い会話に参加 できる。 | みぢか わだい 身近な話題についての会話なら準備なしに参加でき る。たまに言いたいことが言えないこともあるが、会話 が続けられる。 | たいてい わだい たいていの話題について長い会話に参加できる。相 手に負担をかけずに話すことができる。 |
| | 33 | 相手に合わせて使い分けをするのは難しいが、丁寧 体と普通体を使って話すことができる。 | あいて おう ていねい ぶんたい 相手に応じて丁寧な文体とくだけた文体を使い分けて 話すことができる。 | その場や会話の参加者に応じて、敬語を含む礼儀正 しい表現やくだけた表現を適切に使い分けて話すこと ができる。 |
| りかい 理解 | 34 | はっきりゆっくりした話し方の簡単な日常会話が理解 できる。 | わからない言葉を繰り返してもらったときもあるが、はっ きりした話し方の日常会話が理解できる。 | そうおん 騒音があっても、標準的な話し言葉で自分に言われた ことが詳しく理解できる。 |
| | 35 | ゆっくり、はっきりしていれば、日本人同士の会話の話 題が何かわかる。 | ひょうじゅんご にはんじんどうし なが かいわ 標準語なら、日本人同士の長い会話の要点を普通に 理解できる。 | 日本人どうし かつぎ かんた 日本人同士の活気に富んだ会話についていくことがで き、少し努力すれば、話されていることのほとんどを聞 き取ることができる。 |
| | 36 | 方言の語彙を少し知っている。 | ほうげん ま ほうげん 方言が混じった表現でも多少理解できる。 | ほうげん ま かいわ 方言が混じった会話でも、分からない言葉を多少確認 すれば、ある程度理解できる。 |
| てがみ 手紙やメール | 37 | かんしや ほうげん かんたん ことば 感謝を表現するとても簡単な個人的な手紙が書ける。 | けいけん きもち できごと かわ かんたん 経験、気持ち、出来事を詳しく表した個人的な手紙が 書ける。 | あいて きんきよう ふ けいけん きもち できごと じゅ 相手の近況に触れながら、経験、気持ち、出来事の重 要点を強調した手紙や、用件を問い合わせたり、依頼 する適切な文書が書ける。 |
| | 38 | みじか こじん てがみ かんじ よ たす 短い個人の手紙は漢字の読みなどについて助けがあ れば理解できる。 | こじん てがみ よ かんじ よ たす 個人の手紙を読んで、漢字の読みなどについて助け があれば出来事、感情、希望の表現を理解できる。 | こじん てがみ かん ぶんしよ よ つた よう 個人の手紙や機関からの文書を読んで、伝えたい用 件や気持ちなどを理解できる。 |
| だいいょうあいさ 代表挨拶 | 39 | てがみ じゅんぱ かんたん 手伝ってもらって準備したとおりに、代表挨拶がで きる。 | れい さんこう だいいょうあいさつ じゅんぱ 例を参考にして代表挨拶を書き、準備すれば代表とし て大勢の前で挨拶ができる。 | じゅんぱ がなくとも、その場で代表として挨拶ができる。 |

せいかつ
生活（大阪オリエンテーリング、研修旅行、日常生活）

| | | | | |
|----------|----|---|--|---|
| テレビなど | 40 | えいぞう かな かんたん 映像があり、話し方がはっきりしていれば、ニュース番 組が伝えている出来事が何かわかる。 | かな かんたん わだい 話し方がはっきりしていれば関心のある話題のテレビ 番組、ドラマや映画の内容の大体が理解できる。 | ひょうじゅんご だんま 標準語のドキュメンタリー、生のインタビュー、ほとん どのニュースや時事問題の番組、映画が理解できる。 |
| まち 町で | 41 | いきさき じかん かんたん 行き先や時間などの簡単な説明が理解できる。短い はっきりとした簡単なアナウンスの要点が聞き取れ | ひょうじゅんご かんたん 標準語で普通のスピードなら、町で聞くアナウンスが だいたい理解できる。 | ひょうじゅんご かんたん 標準語で普通のスピードなら、町で聞くアナウンスや 解説をほぼ理解できる。 |
| | 42 | しょくじ ちゅうもん かんたん 食事の注文や、簡単な買い物ができる。 | りょこうちゅう まち お 旅行中や町で起きるたいの状況に対処できる。 | まちなか お じょうきよう じゅうぶんたいしき もんだい 町中で起こる状況に十分対処でき、問題が生じても、 解決のための交渉の話し合いができる。 |
| | 43 | みせ じつもん じょうほう 店で質問をして情報をもらったり、交通機関で行き方 を聞いたりすることができる。 | くじょう い へんぴん 苦情を言う、返品するなど日常余り起きない状況にも 対応できる。 | と あつち せつめい せいひんせつめい 取り扱い説明や製品説明、サービスについての複雑 な情報が理解でき、条件を提示しながら交渉できる。 |
| | 44 | じこくひょう こうく かんたん 時刻表、広告、メニューのような簡単な日常の資料 や、駅やレストランなどで日常よく目にする看板や表 示を理解することができる。 | パンフレット、短いお知らせ書類のような日常の資料 の中から重要な情報を探し出し、理解できる。街中の 看板や掲示、説明書きなどの要点がわかる。 | こうぶんしよ はんくふつかん じょうほう 公文書や博物館の資料などを読んで、だいたいの内 容がわかる。街中の看板や掲示、製品の取扱説明書 などをだいたい理解できる。 |